



# トサボリ

CHARTERED JUNE 5th 1951

# 2

# 2010

## 主題

クラブ(主題)「エッサ! ホイサ! ヨサ!」 高部 雅一 会長

国際(主題)“The Power of One” 「一つとなる力」

Kevin Cummings (カナダ)

アジア(主題)“Dreaming Asia, Loving Asia” 「夢見るアジア、愛するアジア」

Chon Byung-Koo (韓国)

西日本区(主題)“Love & Care for All the Living Things” 「すべてのいのちを大切に」

Life, Peace, Environment

いのち・平和・環境

鈴木 誠也(神戸ポートクラブ)

中西部(主題)「元気はつらつ中西部」

金田 恒(大阪高槻クラブ)

## 聖句

あなたは、断食するとき、頭に油をつけ、顔を洗いなさい。

マタイによる福音書 6-7

## 変わるべきこと

小路 清一

年末から年初にかけ、社会の諸相で「変化しつつある」あるいは、「変わらないでいる」といった所感を持つことの多い今日この頃です。変化が訪れるときの常として、その変化を歓迎する勢力と、なるべくそれを抑え、変化が生じないようにしようという勢力とがせめぎ合い、時として泥試合・暴露試合の様相となります。

例えば昨今の相撲界の動きは象徴的です。ある改革派の若い「親方」が相撲協合理事改選に立候補したことに賛同した6人もの親方が一門の部屋を破門されました。一方からすれば国技を盛り立てるために、理不尽な慣習は唾棄すべきものと明確に勇気を持って発言している。他方からすれば、長年守られてきた制度(順位)と伝統・作法を守ってこそ国技は意味がある。ただ、ここで留意すべきなのは、両横綱を始め、現幕内力士の約3分の1は外国人力士であるという現実です。果たして本当にこれまでどおりでいいのでしょうか? 上記は一例ですが、社会のおよそあらゆる局面でこれだけ大きな変容を既に見せている現在、またそのことがますます加速するだろうと思われる今後を含めて考えたとき、私たちの取るべき態度は必然的に決まってくるのではないのでしょうか? 伝統文化の根幹的価値の保全と一部のえらい人々の都合とが混同されてはいけなと思います。

YMCAは、これまで多くの新しい価値を世に問い、浸透させることをその働きの一つとして活動してきました。このような時勢にあり、Yが社会に提案し変化をリードする良い機会だと考えることも可能なのかなと思います。今後とも、皆様のご支援と活発なご参加を宜しく願います。

## 2月

## 例会プログラム

<TOF・CS・FF>

日時: 2010年2月16日(火) 18:30~20:20

会場: 土佐堀YMCA会館902号室

司会: 岡野 泰和メン

例会担当: 地域奉仕委員会(道関、岡野、福永、水口、澁谷)

- |                  |                          |
|------------------|--------------------------|
| 1. 開会宣言・点鐘       | 北村詔四副会長                  |
| 2. ワイズソング        | 同                        |
| 3. ゲスト紹介         | 司会者                      |
| 4. 聖句朗読・メッセージ    | 奥田時夫メン                   |
| 5. 食前感謝          | 奥田時夫メン                   |
| 6. 晚餐と歓談         | 同                        |
| 7. 臨時総会 次期役員選挙   | 小森三省メン                   |
| 8. ゲストスピーチ       | NGO 気候ネットワーク             |
| 地球温暖化問題 COP15 報告 | 川阪京子さん<br>Kina Jacksonさん |
| 9. YMCA ニュース     | 小路清一連絡主事                 |
| 10. インフォメーション    | 水口美里書記                   |
| 11. 誕生日・結婚記念日    | 北村詔四副会長                  |
| 12. ニコニコ         | 司会者                      |
| 13. YMCA の歌      | 同                        |
| 14. 閉会宣言・点鐘      | 北村詔四副会長                  |

2月の強調テーマ TOF・CS・FF

Time of Fast・Community Service・Family Fast

断食のとき・地域奉仕・家庭での断食

TOF・CS・FF 資金はワイズ活動のエネルギー源、おいに活用しましょう。 遠藤 通寛地域奉仕事業主任(大阪泉北クラブ)

## 役員会報告

水口 美里

1月

## 例会報告

小森 三省

日時：1月26日(火)18:30～

場所：奥田事務所

出席者：北村会長代理、生地、岡野、奥田、工藤、小森、小路、灰谷、水口

## 報告・確認事項

1. 1月例会 [15日(火)18:30 大阪YMCA 902号室]

出席者：メン19、メネット5、ビジター1、計26名、メーキャップ0、出席率82.6%、

ニコニコ：4,000円、60周年ファンド：25,000円

## A) 60周年事業ファンドオークション

今回は品数が多く、食事の後すぐに奥田メンの司会により始められた。和やかな雰囲気の中に次々と競り落とされ、全品完売となった。

## B) メンバースピーチ “韓国IBC訪問記”

報告者：岩田メン、北村メネット

昨年11月に灰谷・小森・工藤・岩田の各メンと北村メネットの計5名の訪問団が、韓国を訪問。訪問先での歓迎の様様をスライドで見ながら、報告を聞いた。3泊4日の日程であったが、航空機、高速バス、KTX(韓国の新幹線)などを利用して、IBCの済州三多クラブ、大田ハンバットクラブのほか、ソウルのワイズオフィス、聖岩クラブなど、岩田メンの案内で効率よく回る事ができた。ワイズへの取り組み、メネットの活動状況などのお話を聞く事ができ、有意義な訪問となった。

## 2. 次期(2010-2011)事業主査選出について

松浦次期中西部長のご裁量により、土佐堀クラブは会長不在という不測の事態にあり、次期事業主査を免除していただける事となった。

## 3. 中西部スペシャルオリンピックス協力委員について

道関地域奉仕事業委員長が、仕事の都合上お引き受けできないとの事で、とりあえず北村会長代行に出いただく事となった。

## 4. 中西部合同新年会(1/9)出席報告

生地、奥田、北村、北村メネ、工藤、小森、灰谷、水口の8名が出席した。

## 5. IBCへの西日本区大会への参加依頼書発送について

IBCの11クラブへの依頼書を作成し、北村会長の署名をいただいて発送した。(1月20日エアメール発送済)

## 協議事項

1. 2月クラブ例会[16日(火)18:30 大阪YMCA 902号室]

担当：地域奉仕(道関委員長、岡野、福永、水口、澁谷)プログラム：TOF例会(おにぎりを準備する)

## A) 次期役員選挙

B) ゲストスピーカー：COP15に参加されたNGO気候ネットワーク川阪京子さんのお話。(小路メンの紹介)

2. 3月クラブ例会[16日(火)18:30 大阪YMCA 902号室]

担当：ファンド(奥田委員長、生地、小坂井、坂本、水口)プログラム：次月までにスピーカー候補者を検討する。

3. 土佐堀YMCAチャリティ写真展、ボウリング大会への参加について クラブメンバーに案内する。

## 4. 大住畑作業

1月31日(日)午前10時集合。白菜、大根の収穫、じゃがいもの植え付けを行う。

## 5. その他

・2月第2例会役員会：2月23日(火)18:30 奥田事務所

・3月号プリテン委員会：2月23日(火)19:30 "

19日新年1月クラブ例会が開催されました。1月の強調テーマはIBC・DBCです。高部会長が留守のため、北村副会長が力強く開会宣言と点鐘を行い例会スタートです。聖句朗読、食前感謝は新人の澁谷牧師、長年キリスト教を勉強されているため、朗読の内容や食前感謝の気持ちは感動させられました。次にメンバースピーチの予定でしたが、各メンバーからのオークション用品物の持ち込みが多かったためプログラムを急遽変更し、先に60周年記念事業のためのファンドオークションを開催しました。メンバーの何としても60周年事業を成功させたいとの熱い気持ちが伝わってきました。

メンバースピーチでは韓国IBC訪問報告会を行い、先月、灰谷メン、工藤メン、岩田メン、北村メネット、小森メンの5名が訪韓した報告を行いました。岩田メンがスライドを用いながら「弾丸ツアー」の報告を聞きました。1日目はIBC済州三多(チェジュサムダ)クラブへ訪問、クラブとしては2年連続の訪問です。2日目は大田(テジョンハンバット)クラブへ訪問、長い間訪問していなかったためうまく交流ができるか心配していましたが、スライド、スピーチで大歓迎の様子を伺い安心しました。3日目は韓国ワイズメンズクラブ協議会訪問、日本YMCA事務所訪問、ソウル聖岩クラブオフィス訪問と立て続けに有意義な訪問ができたことが報告会を聞いて楽しく勉強できました。短期間に多くの成果があった正に弾丸ツアーでした。

大阪センテニアルクラブの山中ちあきメネットが艶やかな和装でおいでいただき、新年例会に華を添えていただきました。ありがとうございました。

## 中西部合同新年会スナップ



(報告記事は4ページに掲載)

## IBC & International

<私が巡ったIBC > 今村 一之

### セントラル・コースト・クラブ

(オーストラリア)

オーストラリアでの第2回目の国際大会は、2002年にシドニーで開かれました。鈴木謙介元国際会長がご出席になり、私たちも2人で参加しました。当時はシンガポール経由で、時間も旅費もかかりました。

シドニーには、IBCのセントラルコーストクラブがあります。フォザリングハムさんが直前会長として大会を取り仕切っていました。大会場は、急な傾斜の客席の建物で、会場から舞台の人々は、かなり小さく見えたのを覚えています。

シドニーの街は、海岸に面していて、クルージングが盛ん。プログラムの中の港めぐりで、PIPなど沢山の国際役員と握手できたのでした。

ご当地出身の国際会計ボブ・モレル、何人かのPIPと挨拶しました。シドニーオリンピックで高橋尚子さんがマラソンで優勝したのですが、彼女が走った有名な橋を下から眺め、また、シドニーの第1の景観をなしている、あの美しいオペラハウスを船上から見る事ができたのでした。ノボテルホテルのサインボードが大変目につきました。

ある夜のプログラムで、バス旅行の後、牧場でバーベキュー。そして、羊の毛を刈り取るパフォーマンス。羊がアツという間に丸裸にされるのに驚いたものです。空にはサザンクロスが美しく輝き、生まれて初めて見る南十字星に大感激。

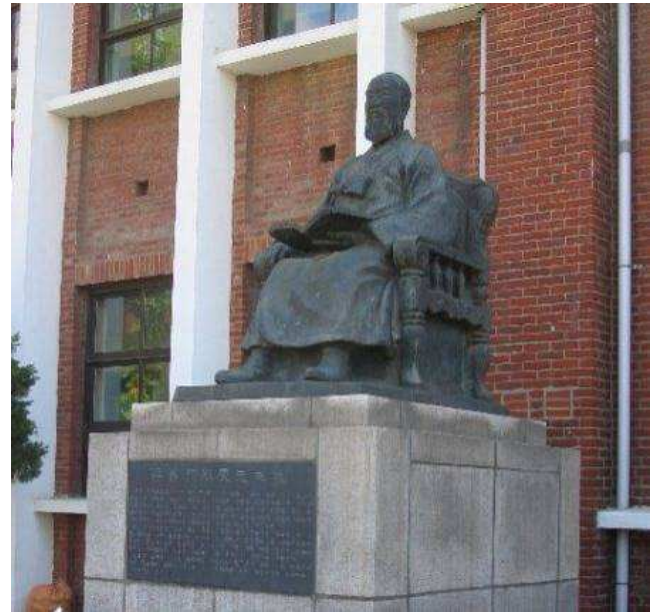
灰谷さんが、この大会に出席され、IBCのイベントには、土佐堀の3人と東京の何人かが共に参加で、IBCナイトを十二分に味わうことができました。ホームステイで彼は、セントラルコーストクラブから日本区大会に出席したメンバーのウィルソン氏宅に泊り、沢山の写真を見せられ、元気だった美智子夫人を思い出して感無量。

大会が終り、3人でニュージーランドを巡って帰る旅程を組みました。シドニーから、ニュージーランド南島のクライストチャーチに飛び、そこで1泊。B&Bに泊ったので、夕食は外へ出ました。マダムのご案内で、公園を突き切り、バイキングの夕食。翌朝は、早い朝食をとり、待つ間もなく、鉄道の駅までの小型バスのピックアップでした。料金は?と聞くと、昨夜もらったとニコリ。あのドライバーの笑顔は、今も目に浮かびます。2時間あまりの電車の旅の圧巻は、海岸近くを泳ぐクジラを見ることのできるカイクラ(Kaikoura)という駅のあることで、ここで数人が下車。この列車には貨物用の車両のような無蓋の1両があり、眺望のためそこへも出てみたが、風と寒さで早々に退散。(次号をお楽しみに)

<韓国通信 part >

岩田 晋

### 尹致昊(ユン・チホ)のこと



写真は、韓国の仁川市の松都中学校にある尹致昊の銅像です。

「ユン・チホ」は韓国ではよく知られた人物で、ソウルYMCAと深い関わりを持った人です。一般に、知識人・独立闘士などとも言われますが、その評価が大きく分かれることでも知られています。ユン・チホは1865年に生まれましたが、若くして、紳士遊覧団の一員として日本を訪れ、明治維新で近代化された日本の姿を目の当たりにして開化思想に目覚め、1880年代から1890年代にかけて日本・中国・アメリカに留学します。言わば、韓国最初の「近代的」知識人であったと言えます。独立運動の核心人物でもあり、また敬虔な基督教信者でもあり、YMCA運動の指導者として、日本の統治時代、キリスト教界の最高元老でもありましたが、その行動からして、日本に協力的であったという見方もあります。

1906年には救国運動を展開し、翌年には開城に学校を造り、同年、ソウルYMCAの副会長に任命されるなど、その経歴は実に多彩です。

肯定的な役割をしたのか、或いは否定的な役割をしたのかという価値判断のよしあしは別として、ユン・チホは韓国の近代史において著名な人物であったことに変わりはありません。

2007年秋、全羅北道の山間部にある小学校を訪ね、その校庭にある、ユン・チホの記念碑(不立碑)の拓本を取ったことがあります。昨年、この碑は撤去されたようです。否定的な面が拳論されたのでしょうか。私の手元にある拓本は貴重なものとなりました。一方、韓国の人達が誇りを持って歌う国歌「愛国歌」の作詞者はユン・チホとされています。歴史のアイロニーをここに感じます。

## 中西部合同新年会報告

生地 義治

1月9日午後2時より南YMCAに於いて、大阪千里クラブ・大阪豊中クラブの合同ホストで開催されました。第一部式典は開会点鐘に始まり、恒例通りのプログラムで進行し休憩。

第二部は、吉田光華氏による「乙女文楽」が演じられた。文楽人形は普通三人使いであるが、乙女文楽では光華氏が人形を肩に架け一人で使う。なかなかの重労働とお見受けした。大変華やかで、楽しい舞台でありました。第三部の懇親会では、普段疎遠になっている旧知の方々にお会いでき、歓談できました。



## 今年の夏は横浜で国際大会！

すでに区報、部会などの情報でご存知のとおり、以下の要領で第69回国際大会が開催されます。

日程：2010年8月5日（木）～8日（日）

会場：パシフィコ横浜

大会ホテル：ヨコハマグランドインターコンチネンタル、横浜ロイヤルパークホテル他（自由選択）

登録費：55,000円（早期：50,000円）大会HPで受付中  
<http://ic2010yokohama.web.fc2.com/japan/index.htm>

スポンサー：東日本区 サブスポンサー：西日本区

ホスト：東日本区全7部

テーマ：“From Our Hands, We Pass Nature's Torch”  
 （日本語）『いのち』未来への継承

私たちの地球のために



デンマークでの横浜大会アピール



大会公式マーク

## YMCAニュース

### 第202回大阪YMCA 早天祈祷会

日時：2月19日（金）7:30～8:30

会場：大阪YMCA会館10Fチャペル

証し：山佐 亜津子さん（大阪YMCAスタッフ）

### クリスマス献金チャリティー写真展

テーマ「自然、命、平和、愛、子ども、環境」

募集締切：1月28日

展示期間：2月1日～2月15日

会場：大阪YMCA 1Fロビー

出品料金：1点500円

### クリスマス献金チャリティーボウリング大会

日時：2月26日（金）午後6時45分集合

会場：桜橋ボウル5階（地下鉄西梅田駅10番出口）

参加費：一般3,000円 学生1,500円（貸靴300円別）

### クリスマス献金のお願い

クリスマス献金の趣旨をご理解いただき、ぜひ多くのご協力をいただきますようお願い申し上げます。

土佐堀YMCA 運営委員会クリスマス献金委員長奥田時夫

### 2月の予定

16日（火）クラブ例会（18:30～）

土佐堀YMCA

23日（火）第二例会・役員会（18:30～）

奥田事務所

23日（火）プリテン委員会（19:30～）

奥田事務所

### 3月の予定

16日（火）クラブ例会（18:30～）

土佐堀YMCA

23日（火）第二例会・役員会（18:30～）

奥田事務所

23日（火）プリテン委員会（19:30～）

奥田事務所

### 2月の誕生日おめでとう

4日 沖口達哉

14日 澁谷弘祐

22日 坂本富子

23日 水口久美子

### 2月の結婚記念日おめでとう

2日 西田卓史・京子

5日 岩田 晋・千代

<今月の題字写真> 鈎状雲 細い筋状の雲の先が巻いてまるで空の釣り針のように見える。寒さもピークを迎えるこの季節、風邪などに引っ掛らないよう体調管理を。(Y)

### 1月例会出席者数

|       |     |
|-------|-----|
| メンバー  | 19名 |
| メネット  | 5名  |
| コメット  | 0名  |
| ピジター  | 1名  |
| ゲスト   | 0名  |
| 出席者合計 | 25名 |

### 1月例会出席率

|         |       |
|---------|-------|
| 会員例会出席者 | 19名   |
| メーキャップ  | 0名    |
| 合計      | 19名   |
| 現会員数    | 23名   |
| 出席率対象数  | 23名   |
| 出席率     | 82.6% |

### B F

|      |     |
|------|-----|
| 切手   | 0pt |
| 現金   | 0pt |
| 1月合計 | 0pt |
| 今期累計 | 0pt |

### ニコニコ

|      |         |
|------|---------|
| 1月分  | 4,000円  |
| 今期累計 | 62,000円 |

### TOS ファンド

|          |            |
|----------|------------|
| 1月分      | 0円         |
| 今期累計     | 16,160円    |
| トスファンド残高 |            |
| 合計       | 1,311,060円 |
| 60周年ファンド |            |
| 合計       | 60,000円    |